

船舶事故調査報告書

平成29年12月20日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（防波堤）
発生日時	平成28年12月29日 08時16分ごろ
発生場所	静岡県静岡市清水港三保防波堤 清水真埼灯台から真方位067°825m付近 (概位 北緯35°01.4′ 東経138°31.4′)
事故の概要	コンテナ船WAN HAI 302は、出航中、防波堤に衝突した。
事故調査の経過	平成29年1月4日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	コンテナ船 WAN HAI 302（シンガポール共和国籍）、26,681トン 9238167（IMO番号）、WAN HAI LINES (S) PTE LTD
乗組員等に関する情報	船長（台湾籍）、免状不詳
負傷者	なし
損傷	本船 バルバスバウに凹損 防波堤 コンクリート部に凹損及び擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2 海象：海上 平穏
事故の経過	<p>本船は、船長ほか21人が乗り組み、清水港新興津ふ頭1号岸壁に左舷着けの状態から、タグボートのタグラインを右舷船尾部に係止した後、後進で離岸した。</p> <p>本船は、しばらく後進した後、主機を前進にかけて右回頭を始め、‘外防波堤と三保防波堤との間の航路’（以下「防波堤出口」という。）の左舷側に位置する外港防波堤に約100mまで接近して右回頭を終えた。</p> <p>本船は、外港防波堤を左舷側に見て防波堤出口に向け、約7.4ノットの対地速力で左回頭を始めたが、防波堤出口の右舷側に位置する三保防波堤に接近したので、タグボートに右舷船尾を引かせ、また、右舷錨を緊急投錨するとともに主機を後進にかけたものの、バルバスバウが三保防波堤に衝突した。</p>
分析	<p>本船は、防波堤出口に向けて左回頭した際、三保防波堤に接近したので、タグボートに右舷船尾を引かせ、また、右舷錨を緊急投錨するとともに主機を後進にかけたものの、バルバスバウが三保防波堤に衝突したものと考えられるが、船長から十分な情報を得ることができなかったことから、三保防波堤に接近した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	本事故は、本船が、防波堤出口に向けて左回頭した際、三保防波堤

	に接近し、バルバスバウが三保防波堤に衝突したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 操縦性能を基に適切な操船を行うこと。